

1、 事業報告

(1) 組織全体に関するまとめ

・計画時間数の達成

2018年度の派遣実績は、期初に作成した計画時間数に対し103.6%（前年実績比98.9%）を達成することが出来ました。計画を達成したことで、2018年度は黒字となりました。

これは、そよかぜを利用者して下さった方々、登録ヘルパーの方々、職員のお蔭です。あらためて御礼申し上げます。

・職員体制の適正化

期初の職員体制としては、実質4名でしたが、登録ヘルパーの事務勤務を取り入れ、事務作業を分担することで、利用者の方の要望に極力応えられるような体制を整えてきました。

その後、2018年6月に男性職員1名が入職し、そよかぜに新しい風を吹かせてくれました。知的障害に詳しい職員で、ほかの職員のレベルも向上し、知的障害を持つ方への利用増加につながっています。ベテラン職員の退職もありましたが、2019年1月には、待望の女性職員が入職し、女性利用者の派遣の回復に繋がっており、今後の活躍が大いに期待されます。

現在は、男性職員3名、女性職員2名となり、そよかぜ利用者の男女比に適した職員体制となりました。この体制により、以前に比べ、登録ヘルパーへのサポート、利用者の方への訪問やモニタリングがよりきめ細かく行えています。登録ヘルパーの急用によるキャンセルにも職員が対応することが可能になり、それが、登録ヘルパーが安心して働ける環境にも繋がっています。

・登録ヘルパーの拡大と課題

職員の紹介により、男性ヘルパーは6人の増加となりました。掛け持ちの仕事がある方でも福祉を本業にしたいと思っている男性ヘルパーが多く、そよかぜで存分に活躍して頂きたいと願っているところです。しかし増えた男性ヘルパーの「平日の日中から長時間働きたい」という希望が重なり、現時点では短時間の連続派遣を紹介していますが、希望に対し十分に答えることが出来ていません。平日の日中の派遣を希望する利用者の方を探すことが直近の課題です。

週末に稼働可能な登録ヘルパーは慢性的に不足しています。このことは継続的な課題です。

・イベントの開催と繋がり

諸活動として、毎年恒例となっている「そよかぜイベント」は、10月と2月の2回行うことが出来ました。利用者の方々、そのご家族、ボランティアの方々、職員の家族・子供たち合わせて、各回50人以上の方にご参加頂き、大変ありがたく思っております。

派遣中はもちろん、相談やイベントなど、派遣以外でも皆さま方との繋がりを大切にして行きたい。困ったときに頼られる「そよかぜ」であり、そして、安心感をもって期待に応えられる「そよかぜ」を目指し、組織づくりを進めていきます。

【会員・利用者・登録ヘルパー数 一覧】

会員数	正会員	40名(-3)	利用者数	制度 対応	総合支援法	男性	19名(+1)	登録ヘルパー数	男性	24名(+6)
						女性	9名(+1)		女性	4名(±0)
	賛助会員	12名(-3)		介護保険	男性	3名(±0)	合計		28名(+6)	
					女性	1名(±0)				
	合計	52名(-6)		介助スタッフ派遣事業 (自主)	男性	7名(±0)	合計		28名(+6)	
					女性	9名(-1)				
	合計			延べ48名(+1)、実人数37名(+1)						

常勤職員数 男性3、女性2

※2019年4月1日現在

カッコ内数字は前年度からの増減

登録ヘルパー数は常勤職員を除いた数

(2) 理事会のまとめ

毎月1回、計13回理事会を開催しました。主要議事として、「学習会の実施」、「定款の全体的な見直し」、「事務局会議の位置づけの明確化」、「職員採用方針」、「登録ヘルパーのスキルアップ対策」、「業務実態分析」、「役員選挙規定の改定」などを行いました。

2018年度 理事会開催日	
第1回 5月25日	第8回 12月21日
第2回 6月22日	第9回 1月25日
第3回 7月20日	第10回 2月22日
第4回 8月17日	第11回 3月15日
第5回 9月28日	第12回 4月12日
第6回 10月19日	第13回 5月10日
第7回 11月30日	

(3)各事業に関するまとめ

①障害福祉サービス事業（障害者総合支援法：居宅介護・重度訪問）

障害者総合支援法に基づき、障害のある人の日常生活上必要な居宅介護、重度訪問介護などを行いました。

居宅介護は、利用者の方が通所や通学から帰宅されてからの夕方にニーズが集中するため、対応人数の制限がかかってしまう状況が続いています。これはそよかぜが発足してから解消できない事象であり、今後も継続する課題だと思われまます。前年度に報告したように、短時間の稼働のため登録ヘルパーの対応が難しく職員のみでの対応だったところを、ヘルパーが事務勤務との組み合わせ派遣を行うことで多少の稼働増加をはかることができました。また、職員やヘルパーからの紹介で徐々に登録ヘルパーが増加しています。ニーズは常時拡大しており、これまで外出支援を受けていた方が居宅サービスもご希望されるようになり、その期待に応えることができた一年でした。

重度訪問介護は、これまで同様長年稼働しているヘルパーの安定的な体制が整っています。しかし利用者の方と同様ヘルパーも年齢を重ねていくことで、近い将来稼働希望に変化があることは否めません。特に家庭があるヘルパーの働き方の希望やキャンセルなどに柔軟に応えられる体制をつくるのが、ヘルパーの安心感にも繋がる今後の課題となっています。

②地域生活支援事業（障害者総合支援法：移動支援）

障害者総合支援法に基づき、障害のある人の日常生活上必要な移動支援を行いました。

昨年の報告同様、地域生活支援事業（移動支援）のニーズの増加がありました。これまでと同じく土曜・日曜に外出の希望が集中しており、全てのご希望にお応えするには至っていません。しかし登録ヘルパーの稼働が増えつつある中で、これまで職員のみが対応していた方に登録ヘルパーが関わることが出来始めました。多様な登録ヘルパーと外出することにより、利用者の方が新たな経験をして世界を広げていくことを願っています。

移動支援のニーズの増加は、利用者の方の興味や世界の広がりであることはもちろん、ご家族と離れた時間の重要性を反映しています。そのため、必要に応じ外出先の開拓などを職員が率先してご提案することも積極的に行えた一年となりました。

③介助スタッフ派遣事業：（自主事業：自費サービス）

障害者総合支援法の利用が困難な障害のある人の日常生活上必要な介助援助などを行いました。

これまで同様、制度の枠では収まらないニーズが少しずつ増加しています。昨年度は人員不足のため現状維持にとどまっていたが、後半より登録ヘルパーの増加や新規職員の入職により、利用者の方のご希望に対応できる時間が増えてきました。

ご家族や利用者の方が年齢を重ねられる中で家庭環境も変化し、突発的なニーズが増加していることを感じる一年でした。例えばご家族の体調不良で通所送迎が急に困難になったり、介護負担が強まりご家族の休息日を意識的に作る必要があったという声が多く寄せられました。思いがけない

急な環境変化などにより、制度が介助ニーズに追い付かなく自費のご利用とならざるを得ないということが今後も増えていくと思われまます。

④介護保険事業：訪問介護

介護保険法に基づき、65歳以上の方の日常生活上必要な介護を行いました。

年度後半まで人員補充がかなわず、新規利用者の方の拡大には至りませんでした。徐々にサービス提供責任者が利用者の方のご自宅にモニタリングに伺う時間の確保ができはじめ、サービスの訪問だけでなく普段のご利用の様子を伺ったり、現行サービスを適正化するための時間を設けられるようになってきました。

そよかぜの利用者の方のほとんどが障害福祉サービスから移行されている方です。高齢による身体機能や環境の変化をしっかりと汲み取り派遣の質を向上させるために、「向き合ってお話を聞かせて頂く」ことの重要性を再認識できた一年となりました。

今後も利用者・関係者の方のご家族の支援など、身近な方からのニーズも広がっていくと予想されます。また2025年からの超高齢化社会を見据え、対応できるスタッフの増員を目指していきます。

【各事業サービス別 派遣時間数結果】

	2018年度計画	2018年度実績		参考) 2017年度実績	
		人数	時間	人数	時間
① 障害福祉サービス:居宅介護	1,400.0時間	12名	1,240.5時間	13名	1,278.0時間
:重度訪問介護	5,600.0時間	4名	6,229.0時間	6名	5,729.3時間
② 地域生活支援:移動支援	2,280.0時間	24名	2,123.5時間	21名	2,277.0時間
③ 介助スタッフ派遣:自主	780.0時間	16名	1,008.0時間	16名	1,109.0時間
④ 介護保険:訪問介護	1,300.0時間	6名	1,165.5時間	6名	1,496.0時間
計	11,360.0時間	実人数 37名	11,766.5時間 計画比 103.6% 実績比 98.9%	実人数 36名	11,889.3時間

(4) その他の報告・諸活動

①学習会の開催

一昨年度は事務所の移転や派遣事業のニーズを優先し、学習会を開催できませんでしたが、学びの場の確保の重要性を感じ、2018年度は法人主体の学習会を再開することが出来ました。また外部学習会にも数多く参加しました。また、事務所内に職員が支援に役立つ資料などを持参し、紹介しあったり、登録ヘルパーへ勧める等の活動を行いました。

3月の登録ヘルパー契約更新の時期には、面談を行い、派遣の希望や利用者情報の共有、実績記録票の書き方等の研修を行いました。

<内部・外部学習会、研修会等への参加>

日付	内容	主催・講師	参加者
7月2日	訪問介護事業者研修 「自立支援・重度化防止のための見守りの援助」	杉並区	佐藤(健)
8月2日	介護職員スキルアップ研修 「認知症を極める！正確な知識が救える方を増やす」	杉並区	佐藤(健)
8月23日	困難事例対応研修 「高齢者・障害者の虐待防止」	杉並区	佐藤(健)
9月14日	そよかぜ公開学習会 「二次障害と向き合う」	講師：天野氏	15名参加
11月29日	移動支援交流会 「やってみよう！移動支援」	杉並区	岩佐
2月6日	障害者の権利擁護と虐待防止研修 「障害者の権利擁護と虐待防止」	杉並区	米窪
2月25日	「みんなで作ろう防災計画」	過去の震災に学び 障害者の備えを考 える会	志村・佐藤(圭)
3月4日	区内事業所情報交換会 「障害福祉分野の人材確保について」	支援センター すだち呼掛け	佐藤(健)・遮那

②災害対策

障害サービス事業での災害対策マニュアルの作成については、前担当者退職後、派遣事業のニーズを優先し後任者を設定することができず、とりかかることが出来ませんでした。

③交流会の開催

会員、利用者、登録ヘルパー、家族の方との交流を主眼においた交流会を行いました。

交流会企画は、法人利用者の方のみならず、事業所の枠を超えて楽しみにして下さる方が多くなっています。一昨年は事務所移転もあり開催できなかった秋の交流イベントを、昨年に行うことができました。新春イベントではこれまでにない沢山の方々のご参加を頂きました。イ

ベントという場だからこそその気安さで、以前利用して下さっていた方が遊びに來たり「関係性が継続する」大きな役割を果たしています。また、ご友人と一緒に参加して下さった方と利用契約に至りました。派遣事業だけではない繋がりが生まれ、ご家族、利用者の方、職員、ヘルパーがそれぞれ深く知り合う良い機会となっています。

日付	内容	人数
10月20日	秋イベント 昼の部：「シャベリバ」 夜の部：「しんぼく飲み会」 高円寺交流会にておしゃべり会・居酒屋カフェにて親睦会	延べ 50名
2月16日	新春イベント 障害者福祉会館にて笑いヨガ・ボッチャ・茶話会	61名

④募金箱の設置

障害のある方のグループホーム設立などに向け、資金集めの一環として募金箱「そよかぜ募金BOX」の設置を行いました。昨年度は派遣事業ニーズを優先し、積極的な活動を行うことができませんでした。

【実績】年間回収数： 2ヶ所 計 24,953 円
 (2017年度実績 年間回収数： 7ヶ所 計 70,555 円)

⑤会報（通信）発行

会員の方への情報発信を目的として、会報を季刊発行しました。

法人の取り組みを会員の方にも共有して頂くこと、情報交換の場の一つとなることを主眼において作成しました。イベント報告や利用者の方の利用のご様子の紹介文などについては、これまで以上に個人情報公開のご了解を明確に頂くことを徹底しています。

発行日時	号数	掲載記事	発行数
5月10日	第38号 2018年春号	日々のヒトコマ 新春イベント報告 等	144箇所 159部
8月24日	第39号 2018年夏号	利用者さんからのメッセージ 第17回通常総会報告 等	143箇所 156部
12月26日	第40号 2018年冬号	公開学習会報告 秋イベント報告 等	155箇所 159部
3月30日	第41号 2019年春号	ちよっとおしらせ 新春イベント報告 等	149箇所 164部

2018年(平成30年)度 活動決算書

2018年4月1日～2019年3月31日

収入の部		支出の部		単位 円
科 目	金 額	科 目	金 額	
1. 会員費	126,000	1. 事業費		
2. 寄付金	48,262	(1) 居宅介護事業	20,550,441	
3. 派遣事業介助料等	1,834,324	(2) 地域生活支援事業	4,886,445	
4. 居宅介護事業	20,803,661	(3) 介助スタッフ派遣事業	1,759,967	
5. 処遇改善加算(居宅)	4,567,254	(4) 介護保険事業	4,330,940	
6. 地域生活支援事業	5,817,197			
7. 介護保険事業	5,155,881	事業費合計	31,527,793	
8. 雑収入	49,514	2. 管理費		
		(1). 人件費		
		職員給与等	3,429,085	
		担い手給与等	527,122	
		(2). 法定福利費	397,965	
		(3). 福利厚生費	87,238	
		(4). 交通費 通勤手当	137,199	
		担い手分	59,723	
		(5). 通信費	32,059	
		(6). 慶弔費	0	
		(7). 減価償却費	0	
		(8). 保険料	18,370	
		(9). 修繕費	0	
		(10). 水光熱費	44,636	
		(11). 印刷費	30,560	
		(12). 消耗品費	13,774	
		(13). 公租公課	13,576	
		(14). 広告費	3,175	
		(15). 諸会費	2,000	
		(16). 研修費	6,000	
		(17). 備品費	5,574	
		(18). 調査研究費	0	
		(19). 車輛関連費	0	
		(20). 保守料	0	
		(21). 企画交流費	16,405	
		(22). 雑費	80,433	
		(23). 顧問料	0	
		(24). 会議費	39,789	
		(25). 事務所家賃	382,464	
		(26). リース料	50,395	
		管理費合計	5,377,540	
		雑損失	0	
		当期支出合計	36,905,333	
		当期収支差額	1,496,760	
		前期繰越収支差額	4,018,324	
当期収入合計	38,402,093	次期繰越収支差額	5,515,084	

貸借対照表

単位 円

資 産	金 額	負債・資本	金 額
流動資産		流動負債	
現金	53,858	預かり金 所得税	100,973
銀行普通預金	941,702	預かり金 住民税	57,000
郵便貯金 そよかぜ	49,604	預かり金 雇用保険料	13,053
労働金庫	3,806,278	預かり金 社会保険料	372,161
未収金	3,516,358	預かり金	2,000,000
立替金	61,995	仮受金	57,000
前払金	0	未払金	447,524
事務所移転積立預金	0		
郵便振替	30,000	流動負債合計	3,047,711
		借入金	0
流動資産合計	8,459,795	借入金合計	0
固定資産		剰余金	
敷金	98,000	繰り越し剰余金	4,018,324
車輛運搬具	0	当期剰余金	1,496,760
出資金	5,000	剰余金合計	5,515,084
固定資産合計	103,000		
繰延資産			
礼金	0		
繰延資産合計	0		
合 計	8,562,795	合 計	8,562,795

2019年3月31日現在

財務諸表の注記

・重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

財産目録			単位	円
科 目	金 額			
I. 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金				
現金	53,858			
普通預金 みずほ銀行高井戸特別出張所	941,702			
郵便通常貯金 そよかぜ	49,604			
労働金庫	3,806,278			
未収金	3,516,358			
立替金	61,995			
事務所移転引当預金	0			
郵便振替	30,000			
流動資産合計		8,459,795		
2. 固定資産				
建物付属設備	0			
什器設備	0			
敷金	98,000			
保証金	0			
出資金	5,000			
電話加入権	0			
車両運搬具	0			
固定資産合計		103,000		
3. 繰延資産				
礼金	0			
繰延資産合計		0		
資産合計			8,562,795	
II 負債の部				
1. 流動負債				
預かり金 職員に対する源泉所得税	100,973			
預かり金 雇用保険料	13,053			
預かり金 社会保険料	372,161			
預かり金 住民税	57,000			
預かり金	2,000,000			
仮受金	57,000			
未払金	447,524			
流動負債合計		3,047,711		
2. 固定負債				
固定負債合計				3,047,711
負債合計				3,047,711
正味財産の部				5,515,084

2019年3月31日現在

平成30年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人 そよかぜ

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ)	住所又は居所	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名			
1	○ 理事・監事	マツオ ミノル	[REDACTED]	平成30年4月 1日	年 月 日
		松尾 實		～	～
2	○ 理事・監事	イワサ ヒデユキ		平成30年4月 1日	年 月 日
		岩佐 秀行		～	～
3	○ 理事・監事	コバヤシ ヒロミ		平成30年4月 1日	年 月 日
		小林 祐美		～	～
4	○ 理事・監事	シムラ キクオ		平成30年4月 1日	年 月 日
		志村 紀久雄		～	～
5	理事・○ 監事	キハラ ススム		平成30年4月 1日	年 月 日
		木原 勇		～	～
6	理事・監事		年 月 日	年 月 日	
			～	～	
7	理事・監事		年 月 日	年 月 日	
			～	～	
8	理事・監事		年 月 日	年 月 日	
			～	～	
9	理事・監事		年 月 日	年 月 日	
			～	～	
10	理事・監事		年 月 日	年 月 日	
			～	～	

